

会員の皆様へ

Q ; PCR 検査が、宮城県医師会健康センターでできるようになったと聞きましたが、実際はどうなっていますか。

A ; 器械の搬入、設置、点検は終了しており、検査可能な状態となっております。しかし、当面は帰国者・接触者外来からの検体を県内 2 か所の指定施設で行政検査として従前どおりに行うというのが宮城県当局の方針で、宮城県医師会健康センターは今後検査数が増加した場合のバックアップとして機能することが想定されています。ちなみに現在の検査能力は 2 か所で 40 検体/日とされており、1 月 30 日から 3 月 22 日までの総検査数は 161 名分だそうです。宮城県医師会健康センターでの検査数は、一日 20 検体を想定しています。

Q ; そうすると、一般の医療機関での検体採取や PCR 検査依頼は行わないのでしょうか。

A ; そのとおりです。日医の方針でも、検体採取は帰国者・接触者外来などに限定して行うとあります。ただ仮に今後宮城県でも爆発的な感染が広がった場合は、検討する可能性はあります。ただし、その前提条件として、十分な防護用品の配布と感染症の知識や設備が十分な施設での検査になると想定します。

Q ; 報道では、簡易検査キットの話やワクチン、治療薬の話が出ております。現状を把握していますか。

A ; 中国で開発された簡易検査キットは、クラボウが提携先です。血液で IgM 抗体、IgG 抗体を計る検査であり、15 分程度で結果が判定可能とのこと。前者は感染早期の、後者は感染後期の判定に用いられるようです。値段は 10 回分で 2.5 万円、現在日本での保険適応は無く、中国からの供給が少ない現状であり、日本では研究機関などへの配布となっています。感染のない方は 100%陰性に出ますが、感染があっても約 80%の陽性率にとどまるとのことです。

米国ではワクチンの臨床治験が始まったようですが、実用化には今後 1 年から 1 年半位かかるとの報道でした。日本でも阪大微研が開発を開始しています。治療薬としては、アビガン、喘息吸入薬 (オルベスコ)、抗エボラ出血熱薬、抗 HIV 薬、フサンなどが検討されております。日本での承認が待たれます。COVID-19 がインフルエンザ感染症と違うのは、現在は簡易検査キットや治療薬がないことです。これらの道具がそろえば、十分な防護策の上で、一般の医療機関でも検査、診察、治療が可能となる日も来ると期待しています。

Q ; 大阪府や愛知県、東京都などの大都市圏では、クラスターなどから感染者の発生が止まりません。現在のところ宮城県とはまったく事情は異なりますが、宮城県でも蔓延期に備えはしていますか。

A ; 現在は、帰国者・接触者外来や入院受け入れ先の拡充に努めています。ちなみに、帰国者・接触者外来は現在 17 か所、入院先のベッドは 29 床、さらに協力病院は 4 か所となっています。大阪府や東京都にならって、今後の対策を今から考える必要があります。外来は発熱外来の設置、患者の搬送は保健所を介して救急車に依頼すること、ベッドコントロールを一か所にして、重症者を中心に治療体制を組むことなどです。当県でも関係者が一堂に集まって、この件に関する会議が近々予定されております。

Q ; マスクが足りません！消毒薬も足りません！どうなっていますか。

A ; マスクは、省庁保有の 250 万枚を 3 月 18 日から配布しています。宮城県では 6 万枚を、主として帰国者・接触者外来や指定病院など 28 か所に配布します(1 か所、約 2,000 枚強)。また政府放出の 1,500 万枚のマスクは、3 月 26 日に宮城県に到着し(32 万枚)宮城県医師会、宮城県歯科医師会、宮城県薬剤師会に配布予定です。これでも不足は明らかであり、日医や政治家を介して、さらなる配布を強力にお願いしています。

次に手指の消毒薬ですが、厚労省から、県下の医療機関へ詳細な調査票を配布して、在庫量と今後の使用予想量を記入してもらい、宮城県が 3 月末までに取りまとめて、厚労省に報告するように、という通達がありました。調査票は、詳細なもので現実的ではなく、日医などとも協議の上、概算でお願いする予定です。政治家にも陳情しました。このような時は、本当に政治家の力は大きいと感じます。

Q ; 宮城県医師会の活動内容がよく分からないというご意見を頂戴しました。

A ; 東日本大震災の時もそうでしたが、このような非常事態の時には、一生懸命活動しても、それをタイムリーに広報しなければ、活動内容が見えないのは当たり前だと思います。そのような体験から、様々な媒体を介した広報活動の重要性は、十分認識しています。現時点ではホームページに最新のニュースを掲載しています。今後とも、よろしくご理解、ご協力をお願いいたします。